

母子ふるさと感謝祭（児童会行事）

一年間お世話になった地域の方に、感謝の気持ちを伝えたい！地域の方との交流を深めてみんなを元気にしたい！・・・そんな思いで始まった『母子ふるさと感謝祭』は、今年で6回目を迎えました。

1. 「母子ふるさと感謝祭」に向けての全校児童会

令和6年（2024年）12月13日（金）の2校時に、ふるさと感謝祭に向けての全校児童会を行いました。地域の方に喜んでもらえるように各学年から、企画やアイデアを出し合って話し合いを行いました。高学年の子どもたちを中心に児童会の準備を行いました。出しものやゲームの内容など、事前にクラスで決めておいてほしいことを児童会便りでお知らせし、意見を持った上で、全校児童会を行いました。全校児童会当日、高学年の児童が司会や黒板書記、ノート書記の役割に分かれ、進める姿に大変頼もしく感じました。普段の算数のガイド学習が他教科にも活かされていました。

全校児童会を受けて、各学級で「感謝タイム」や「交流タイム」に向けての準備を行いました。生活科や総合的な学習でお世話になった方や地域の方への感謝の気持ちを伝えられるように工夫し、練習を重ねてきました。また、「プログラム」や「校長先生へのあいさつの依頼」「BGM」「交流タイムのゲーム」「表彰状」など、ふるさと感謝祭に向けて分担した役割を各クラスで準備しました。



2. 「母子ふるさと感謝祭」当日

令和7年（2025年）2月1日（土）に「母子ふるさと感謝祭」を行いました。当日は朝から寒く「たくさん来てくれるかな。」と心配をしていました。しかし、地域の方、育友会の方など予想を超えるたくさんの方々に集まっていただきました。地域の方と笑顔があふれる素敵な時間を、ともに過ごすことができました。地域の方が喜んでくださる姿は、子どもたちの喜びや達成感にもつながっています。あらためてたくさんの方に母子小学校が支えられていることを実感した一日でした。たくさんご参加いただき、本当にありがとうございました。

交流タイム

①クイズゲーム（低学年担当）

3択クイズです。一般的ななぞなぞのほかにも、母子にちなんだクイズも出題されました。改めて考えると「なんだっけ?」となる問題も多く、大人も子どもも真剣に考えました。



正解者に手作り表彰状を配りました。

②福笑い（中学年担当）

中学年は福笑いを行いました。ホワイトボードに大きな福笑いを貼り、3つのチームに分かれて一つのおたふくを協力して作りました。子どもだけでなく、地域の方にも参加してもらい、ヒントを出し合いながら面白い顔を作りました。



3チーム、ヒントを出し合い、大盛り上がりでした。

(1) 感謝タイム

低学年、中学年、高学年へと順番に、今年一年の学習の取組と感謝の気持ちを地域の方に伝えました。今年も母子小学校体育館で、笑顔と熱気に包まれる素敵な会を催すことができました。



低学年（母子たんけんたい）



中学年（母子の自慢を伝えよう）



高学年（そば日記）

